

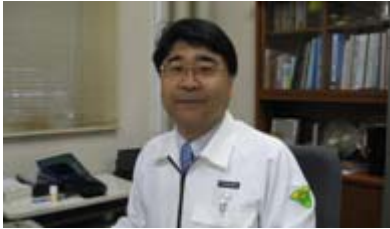


株式会社東芝 セミコンダクター社北九州工場 サイトレポート情報	
所在地	福岡県北九州市小倉北区下到尾津1-10-1
敷地面積	56,209㎡、建家面積：63,285㎡、緑化率※9.2% (※工場立地法施行前のため規制対象外)
設立	1920年6月、正規従業員：1,000人 (2010年3月末現在)
主要製品	光半導体、アナログLSI
ISO14001認証取得	1996年9月(セミコンダクター社グループとしての統合認証実施年月：2007年8月)、ISO14001統合認証の有効期限：2013年8月(2010年8月更新)、ISO14001認証番号：EC98J2014



ごあいさつ

株式会社東芝 セミコンダクター社北九州工場は、北九州市の市街地で89年に渡り操業している東芝グループの中で最も長い伝統を有する工場です(今年で操業90周年を迎えます)。
当工場では、環境への取組みを工場経営の最重要課題のひとつとして位置づけ、『従業員一人ひとりが率先垂範する環境活動』をキャッチフレーズに、工場一丸となって環境保全活動に取り組んでいます。



環境保全責任者 松本裕之

2009年度の環境の主な取組み

★**環境マネジメントシステム** …ISO14001統合認証審査2年次サーベイランス受査 (2009年7月)

★**2009年度環境目標実績** …全て達成 (全11項目)

①省エネ施策によるCO2排出量削減(削減量)	計画：510トン-CO2/年以上	⇒実績：1,127トン-CO2/年
②PFCガス排出量削減(排出量)	計画：57GWP千トン以下	⇒実績：48GWP千トン
③物流CO2削減(削減距離)	計画：64km以上	⇒実績：64km
④廃棄物総排出量削減(排出量)	計画：2,690トン以下	⇒実績：2,103トン
⑤廃棄物埋立処分量削減(処分量)	計画：6.3トン以下	⇒実績：5.7トン
⑥水資源受入量削減(受入量)	計画：987千㎡以下	⇒実績：944千㎡
⑦化学物質環境排出量削減(排出量)	計画：33トン以下	⇒実績：30トン
⑧環境配慮生産・製品技術開発(件数)	計画：23件以上	⇒実績：28件
⑨環境報告書発行(日本語版/外国語版)	計画：発行	⇒実績：発行
⑩行政主催活動等への参画(件数)	計画：3件以上	⇒実績：3件
⑪清掃活動・ボランティアへの参加(件数)	計画：6件以上	⇒実績：10件



3R活動推進表彰状

★**取引先等に関する環境配慮** …取引先等への支援指導：84社実施、廃棄物委託業者現地確認：25社

★**その他成果(表彰)** …北九州市より「3R活動推進表彰」を受賞(2009年10月)

製品・環境技術開発、環境配慮ポイントの紹介



光半導体

- <<使用用途>>
- 携帯電話
 - デジタルカメラ
 - テールランプ、車内LAN
 - 家電製品 他



アナログLSI

- <<使用用途>>
- 携帯電話
 - エアバック、カーオーディオ
 - DVDレコーダー・TV
 - デジタルカメラ 他

環境コミュニケーションの紹介

- ★環境報告書の発行：2005年度より毎年継続発行(2007年度版より外国語版発行)
- ★地域コミュニケーション：工場周辺清掃ボランティア活動(毎月実施)
：工場秋祭り開催(環境イベント実施)
：中学生見学会受入れ(環境体験学習会実施)
- ★行政主催行事参画：北九州エココンビナート推進協議会参画(2009年11月)
：北九州市エコライフステージ出展(2009年10月)
：北九州市まち美化キャンペーン参画(2009年6月、9月)
：北九州市植樹ボランティア活動参画(2010年3月)



環境体験学習会 環境報告書

(株) 東芝 セミコンダクター社北九州工場 環境方針

－ 理念 －

東芝 セミコンダクター社グループは、東芝グループの環境基本方針である「 ” かけがえのない地球環境” を、健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立って、東芝グループ環境ビジョンのもと、豊かな価値の創造と地球との共生を図ります。低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境活動により、持続可能な社会の実現に貢献します。

－ 方針 －

東芝 セミコンダクター社北九州工場は、環境モデル都市北九州市の市街地 到津の地で、自然豊かな清流『板櫃川』に面して操業する工場であることを念頭に置き、東芝 セミコンダクター社グループ環境方針に基づき、車載用途を中心に人と機器をつなぐキーコンポーネンツである半導体（光半導体及びアナログLSI）の開発・製造拠点として、従業員並びに地域の叡智を集結し、環境に配慮した企業活動の実践と、豊かな価値を創造する環境配慮型半導体製品の提供を通じて、人類とともに多様な生物が持続的に生存できる豊かな社会としての『低炭素社会』実現にむけた、社会及び、北九州市の取組（北九州グリーンフロンティアプラン）に貢献することを目指します。

特に、少ない消費電力で点灯する高輝度LEDランプ及び家電製品用のフォトカプラ（光信号によって情報伝達を行う素子）など環境効率の高い光半導体と、安心・安全・快適なカーライフ・生活環境を支える車載電装品及び家電製品用アナログLSIの開発・製造を推進していきます。

また、東芝グループで最も長い伝統を有する工場として、これまでも、そして、これからも、環境への取り組みを工場経営の最重要課題の一つとして位置づけ、「従業員一人ひとりが率先垂範する環境活動」をキャッチフレーズに、身近な改善を実践する「Mottainai活動」の推進から、都市型の工場として、地域社会はもとより近隣アジア諸国との協調による環境活動を、技術的、経済的に可能な範囲で推進します。

1. 倫理観（コンプライアンス）と継続性（サステナビリティ）

- 1) 法令、当組織が同意した業界などの指針および自主基準など当組織の環境側面に適用可能な法的及びその他の要求事項を遵守します。
- 2) 環境活動レベルの向上を図るため、監査の実施や活動のレビューにより環境マネジメントシステムの継続的な改善を行います。

2. 実行（エクゼキューション）

事業活動・製品及びサービスに関わる環境側面について、生物多様性を含む環境への影響を評価し、環境負荷の低減、環境汚染の予防、環境配慮型製品の創出、ステークホルダーとのコミュニケーションなどに関する次の環境活動を推進します。

- 1) 製造装置及び動力施設の省エネや温暖化ガスの排出量削減施策等による地球温暖化防止
- 2) 3Rの取組の積極的推進による廃棄物削減施策や水資源の受入れ量削減施策による資源の有効利用
- 3) 化学物質の使用や管理適正化、及び、環境排出量削減施策による環境リスク低減
- 4) 製造工程の改善による使用原材料削減や環境配慮型製品の創出と社会への提供
- 5) さまざまな機会を捉えた環境情報の発信や環境体験学習の実施、日常の3Rを基本とした社会貢献活動等による地域社会との相互理解深耕
- 6) 工場周辺清掃や環境関連講演会の実施、アサガオのグリーンカーテン設置等の活動への参加を通じた従業員の環境意識高揚

この環境方針を達成する為に、工場及び工場の部門で環境目的・環境目標を毎年設定し、環境活動を組織で働く人々又は組織のために働くすべての人々で取り組みます。また、この環境目的・環境目標は、毎年定期に、もしくは、必要に応じてレビューすることにより、活動レベルの継続的な向上を目指します。

この環境方針は、文書化し、小冊子等にて組織で働く人々又は組織のために働くすべての人に配布し周知します。また、Webや環境報告書等を通じて社内外へ開示します。

2010年 7月30日

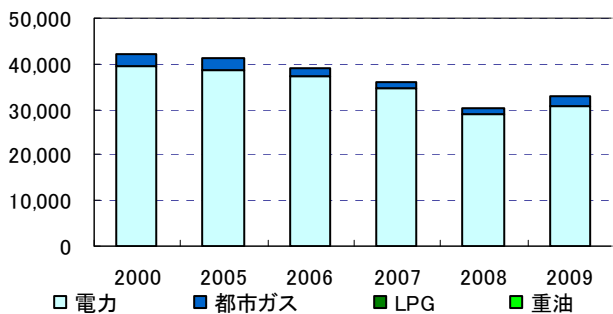
株式会社東芝 セミコンダクター社北九州工場

環境保全責任者

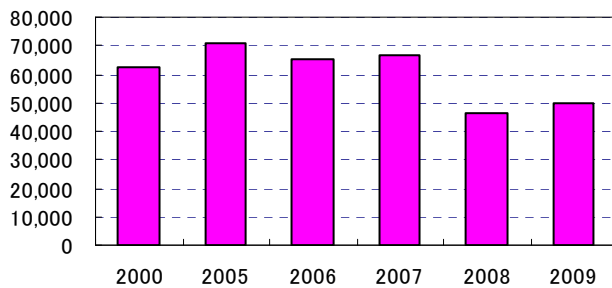


環境負荷データ

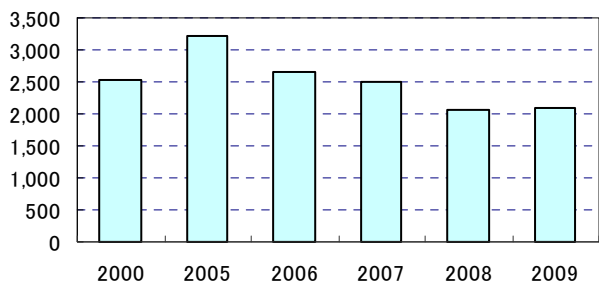
エネルギー使用量(単位:KL)



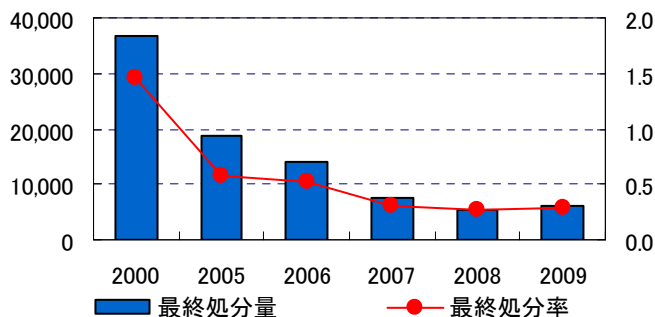
CO₂排出量(単位:トン-CO₂)



廃棄物総発生量(単位:トン)

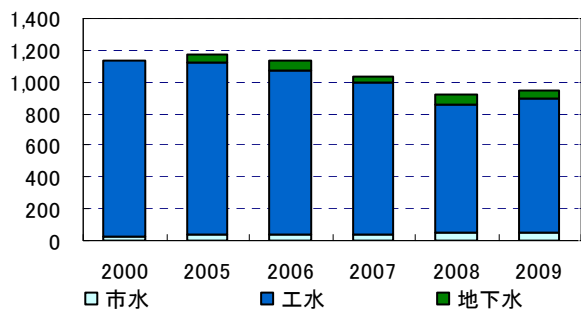


廃棄物最終処分量と最終処分率(単位:kg、%)

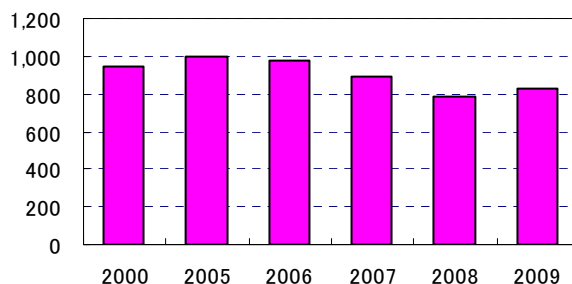


主な廃棄物名: 廃酸・廃油・廃溶剤・汚泥 等

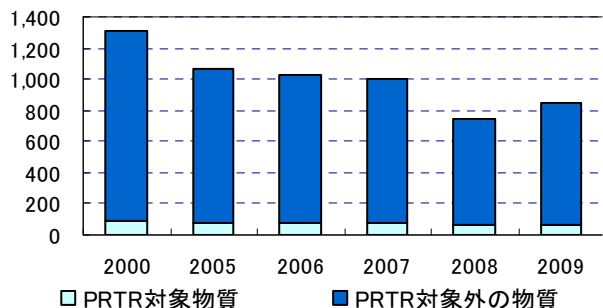
水の使用量(単位:千m³)



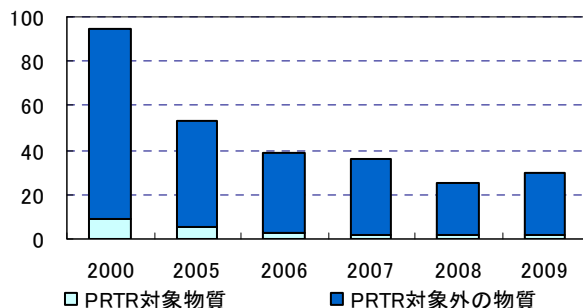
排水量(単位:千m³)



化学物質削減対象物質の取扱量推移(トン)



化学物質削減対象物質の排出量推移(トン)



主な化学物質: 弗化水素およびその水溶性塩、直鎖アルキルベンゼンスルホン酸およびその塩 等

遵法管理状況

<大気測定結果> 炉筒円管ボイラー(都市ガス使用):2台、貫流ボイラー(都市ガス使用):4台

	法規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
NOx(ppm)	150	132	130(最大)	年2回
SOx(Nm3/h)	対象外	対象外	対象外	対象外
ばいじん(mg/Nm3)	100	1.7	1.0(最大)	年2回

<排水測定結果> 特定施設(酸又はアルカリ表面処理施設、排水処理施設、排ガス洗浄施設) ⇒ 下水道放流

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.0~9.0	6.0~8.0	6.3~7.6	毎日
フッ素(mg/ℓ)	15	11	10.2(最大)	毎日
BOD(mg/ℓ)	600	101	38.6(最大)	週1回
COD(mg/ℓ)	対象外	対象外	対象外	対象外
SS(mg/ℓ)	600	50	6.5(最大)	週1回
砒素(mg/ℓ)	0.1	0.05	<0.01(最大)	週1回

<騒音・振動測定結果> 特定施設(騒音:圧縮機、送風機、振動:圧縮機)

	測定場所・時間	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
騒音(dB)	敷地境界:昼	65	65	64(最大)	年6回
	敷地境界:夜	55	55	54(最大)	年6回
振動(dB)	敷地境界:昼	65	39	33(最大)	年6回
	敷地境界:夜	60	37	<30(最大)	年6回

<その他測定結果> 生活雑排水(主な測定結果)⇒ 下水道放流

	規制値	自主管理値	実測値	測定頻度
水素イオン濃度(pH)	5.0~9.0	—	7.2~8.7	月1回
BOD(mg/ℓ)	600	—	75.0(最大)	月1回
SS(mg/ℓ)	600	—	221.0(最大)	月1回

環境事故・指導指摘・苦情の有無

	状況
環境事故発生の有無	なし
工場周辺や地域での環境問題発生の有無	なし
行政からの指導・指摘の有無	なし
近隣住民からの苦情の有無	なし